



平成 26 年 12 月 1 日

各 位

会 社 名 富士興産株式会社  
代表者名 代表取締役社長 金丸 勇一  
(コード：5009、東証第 1 部)  
問合せ先 総務部長 荒木 信之  
(TEL. 03-3861-4601)

### 「内部統制システム構築の基本方針」の一部改定に関するお知らせ

当社は、平成 26 年 12 月 1 日開催の取締役会において、「内部統制システム構築の基本方針」を一部改定することを決議いたしましたので、下記のとおり改定後の内容をお知らせいたします。(改定内容は、「反社会的勢力を排除するための体制」を追加するものであり、その改定箇所は下線で示しております。)

#### 記

業務の適正を確保するための体制

1. 取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制
  - ①取締役会規程に基づき、取締役会を原則として月 1 回開催する。
  - ②取締役は、取締役会を通じて、他の取締役の業務執行の監督を行う。
  - ③取締役会規程において、法令又は定款で定められた事項のほか、重要な財産の処分及び譲受に関する事項、多額の借財に関する事項などの重要な業務執行について取締役会に付議すべき事項を具体的に定め、それらの付議事項について取締役会で決定する。
  - ④各監査役は監査役会が定めた監査方針の下、取締役会への出席、業務執行状況の調査などを通じ、取締役の職務執行の監査を行う。
2. 取締役の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制
  - ①取締役は、取締役会議事録、稟議決裁書その他その職務の執行にかかる情報を社内規則の定めるところに従い適切に保存し、管理する。
  - ②各取締役及び監査役の要求があるときは、これを閲覧に供する。
3. 損失の危険の管理に関する規程その他の体制
  - ①会社業務に関するリスク情報の収集と分析を行い、リスクを網羅的・統括的に管理する社内規則を制定して、リスク管理体制を明確化する。
  - ②危機管理を所掌する組織としてリスク管理委員会を設置し、事業の継続性を揺るがすほどの重大なリスクが発生した場合の対応につき整備を進めていく。
  - ③リスク管理委員会は、社内規則の整備、運用状況の確認を行うとともに使用人に対する周知、啓発を行う。
4. 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制  
社内規則に基づく職務権限・意思決定ルールにより適正かつ効率的に職務の執行が行われる体制を採る。

5. 使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制
  - ①コンプライアンス委員会で、役職員が法令・定款その他の社内規則及び社会通念などを遵守した行動をとるための規範や行動基準を定め、その周知徹底と遵守の推進を図る。
  - ②役職員は、法令・定款違反、社内規則違反あるいは社会通念に反する行為などが行われていることを知ったときはコンプライアンス委員会などに通報・相談し、コンプライアンス委員会の責任者は、重要な案件については遅滞なく取締役会及び監査役会に報告する。
  - ③内部通報制度に関しては、通報者の保護を図るとともに透明性を維持した的確な対処の体制を採る。
  
6. 会社並びに親会社及び子会社から成る企業集団における業務の適正を確保するための体制
  - ①子会社毎に主管部署を定め、当該主管部署が社内規則に従い、当該子会社の経営管理及び経営指導にあたる。また、各子会社には取締役及び監査役を派遣する。
  - ②当社及び各子会社に設けたコンプライアンス委員会は、相互に情報交換を行いながら独自に活動し、グループ全体でのコンプライアンス意識の向上を図り業務の適正性を確保する。
  
7. 監査役がその職務を補助すべき使用人を置くことを求めた場合における当該使用人に関する事項  
監査役がその職務を補助すべき使用人を置くことを求めた場合、監査役の業務補助のため監査役スタッフを置くこととし、その人事については、取締役と監査役が意見交換を行う。
  
8. 前号の使用人の取締役からの独立性に関する事項
  - ①監査役スタッフは、取締役の指揮・監督を受けない専属の使用人とする。
  - ②監査役スタッフの異動には監査役会の事前の同意を必要とする。
  
9. 取締役及び使用人が監査役に報告するための体制、その他の監査役への報告に関する体制
  - ①取締役及び使用人は、職務執行に関して重大な法令・定款違反もしくは不正行為の事実、又は会社に著しい損害を及ぼす恐れのある事実を知ったときは、遅滞なく監査役会に報告する。
  - ②取締役及び使用人は、事業・組織に重大な影響を及ぼす決定、内部監査の実施結果を遅滞なく監査役会に報告する。
  
10. その他監査役の監査が実効的に行われることを確保するための体制
  - ①代表取締役は、監査役と可能な限り会合を持ち、業務報告とは別に会社運営に関する意見の交換のほか、意思の疎通を図るものとする。
  - ②取締役会は、業務の適正を確保するうえで重要な業務執行の会議への監査役の出席を確保する。
  
11. 反社会的勢力を排除するための体制
  - ①社会の秩序や安全に脅威を与え、健全な経済・社会の発展を妨げる反社会的勢力に対しては、その関係を遮断するため、基本方針・規程を定め、その徹底を図る。
  - ②反社会的勢力との関係遮断にかかる主管部署を定めるとともに、外部専門機関と緊密に連携し、会社を挙げて毅然とした態度で対応する。

以上